

皆さまへ 2023年の展望

新たな挑戦を積極的に支援!

- DXを加速させ、企業が抱える課題解決を図り、稼げる地域・まちを創出します。
- スタートアップ支援を充実させ、チャレンジしたい人を応援します。
- 働く女性のキャリアアップを推進し、女性が活躍できるよう支援します。
- 就職氷河期世代の就職・社会進出に向けたセミナーなどを実施し、総合的な支援をします。
- 新たな産業団地の造成を進め積極的に企業を誘致し、雇用の創出に取り組みます。

スローシティで新たなコミュニティを!

- 「道の駅 まえばし赤城」によって来訪者や移住者を赤城山に導きます。
- 群馬県や民間企業と連携し、赤城山に新たな魅力を創造します。
- 放置されている農地や山林、公園、空き家を活用し、ビジネスを生み出す人材を育てます。
- 燃料の高騰のなかで、省エネ・創エネ型の産業や暮らし方を進めます。
- 全国でも有数の農業都市としての力をさらに伸ばし、6次産業化や前橋ブランドの確立を目指します。

便利な交通環境&安心・安全なまちを作る!

- 前橋版MaaSにより、誰でも行きたい場所に行ける交通環境を整備します。
- 分かりやすい交通情報案内や路線バスの定時運行などにより、便利な公共交通を実現します。
- 危険な道路や通学路の安全対策により、市民の暮らしを守ります。
- 「2050ゼロカーボンシティまえばし」の達成に向けて、環境施策を実施します。
- 電子決済の普及などを図り、地域のデジタル化を応援し、地域の便利を増やします。

時代に即した学びの環境を整備!

- 教育委員会組織を再編し、「こども政策」の縦割りの弊害を改めます。
- ICTの力で教育の質の向上を図り、個別最適化した学びを進めます。
- ヤングケアラーやいじめ、不登校などの課題への取り組みを強化します。
- 学校の施設やトイレの改修、校庭の芝生化を進め、安全な環境づくり、長寿命化を進めます。
- 部活動の地域移行に向けた拠点整備に取り組みます。
- 生涯学習講座の充実で市民の学びと生きがいを見つけられる社会へ前進します。

結婚・出産・子育てを応援!

- 結婚を望む人の出会いやキックオフづくり、LGBTへの理解をはじめダイバーシティ社会への変革を進めます。
- 不妊不育症治療と産後ケアなど、子どもを産み育てたいという希望を応援します。
- 病児保育施設は4カ所体制となり、これにより仕事と子育ての両立を支援します。
- 通院も含めた高校生世代の医療費無料化を継続します。
- 母子健康手帳の電子化を進め、保護者にとっての利便性を高めます。

誰一人取り残さない健やかな生活を!

- 救命率を上げるため、救急搬送のスピードとクオリティを高めます。
- 日赤跡地の夜間急病診療所の新築を進め、休日・夜間の医療体制の充実を図ります。
- 生涯スポーツの推進や各種検診の受診勧奨により、市民の健康寿命の延伸を図ります。
- CCRC事業により、官民が力を合わせた「いきがい」「健康づくり」を推進します。
- 新型コロナウイルスをはじめとする各種感染症の発生予防対策を実施します。

新年あけましておめでとうございます。市民の皆さんにおかれましては、輝かしい新春をお迎えのことと心からお慶び申し上げます。

昨年2月から始まったロシアによるウクライナ侵攻は、未だ終息の気配を見せておりません。終戦から70年以上が経過し、平和が当たり前であった日本での暮らしに、エネルギー問題や食糧問題という形で戦争の一端を感じざるを得ません。戦争は対岸の火事ではないということを改めて思い知らされました。また、新型コロナウイルスの感染も衰えを知らず、加えて物価高騰や円安などの経済的な問題も生じており、混迷の中で奮闘してきた1年であったように思います。

一方、市民の健康寿命は伸びております。何よりも健康を守れる社会、そして、生きがいをもって人と人が触れ合える社会づくりが最も大切です。これからも生きがいをもって社会に参加していただける仕組みを充実させていきます。

子どもたちの生きる力を育み、子どもたちが幸せを手にすることができる環境を準備するのが私たちの使命です。4月からのこども家庭庁の設置に合わせた「教育委員会の組織改変」、「ヤングケアラーの支援強化」、「先生と生徒が触れ合える時間の確保」、これらは全て、子どもをまんなかにおいた社会を実現させるためです。将来を担う子どもたちへの支援が、今後の前橋市を支えていくのです。

また、「デジタル化」へのチャレンジが少しずつ形になってきています。デジタルは移動・学び・子育てなど、日常の負担を軽減し、日々の暮らしにゆとりを生む力を持っています。デジタルの力によって、市民の暮らしは再構築され、前橋を魅力ある都市にリニューアルしてくれることでしょう。また、豊かな自然や歴史文化、伝統を守りながら、環境と調和したゆとりある質の高い生活を実現する「スローシティ」へのチャレンジも継続しています。本年3月には、前橋、赤城そしてスローシティの魅力を伝える新たなショーウィンドウとして、道の駅「まえばし赤城」が完成を迎えます。この道の駅を起点に、観光と農業の付加価値を高め、新たな魅力を感じていただけるよう努めてまいります。

官民連携は前橋市の政策の重要な理念です。課題はたくさんありますが、行政・市民・企業がそれぞれの持つ力を総動員して、明るく期待の持てる年になるよう共に力を合わせていきましょう。皆さんにとりまして、本年が素晴らしい一年となりますようお祈り申し上げ、新年のあいさつとします。

山本 龍

あけましておめでとうございます。

本年も、コロナ禍の対応をはじめ、課題解決に向けてしっかりと審議し、わかりやすく透明度の高い議会に努めるとともに、市民皆さまの安心安全と地域社会の振興に尽くしてまいります。

皆さまのご支援とご協力をお願いいたしますとともに、ご健康とご多幸を心から祈念いたします。

前橋市議会議員一同

あけましておめでとうございます。

「新しい生活様式」により、さまざまな活動が再開されており、地域の中でも人と人の触れ合いが求められています。

自治会の活動は、地域の人との交流により成り立っています。今後も皆さまのご理解とご協力をいただきながら、活動を行ってまいります。

前橋市自治会連合会